

オストミー用語解説集



平成 19 年 4 月 5 日 第 2 刷

編纂 (社)日本オストミー協会 / 監修 日本 ET/WOC 協会 (現 JWOCN 学会)

この用語集は、オストミー講習会や病院のストーマ外来などで専門医療者によって用いられ、あるいはストーマケアの各種参考書に記載されている専門用語の中で、オストメイトが理解しておくに役立つものを編集してあります。

社会福祉関係者の方々にも、オストメイトの障害と生活について正しく認識していただくためにこの基礎的な用語を理解して頂き、オストメイトの悩みや愁訴さらには生活ニーズに応じてサポートされるようお願い致します。

この用語編纂に当たりまして、日本 ET/WOC 協会に監修の労をお願いしました。ここに厚くお礼申し上げます。

この用語解説の一部について、日本ストーマ・排泄リハビリテーション学会編纂の『ストーマリハビリテーション学用語集』から引用させて頂いております。

後便 (あとべん)

洗腸で多量の便の排泄があつてから 10~15 分位後に排泄される粘液便で、洗腸の終了の目安となる。多量の下痢便が出てしばらくしてから少量の粘液便の排泄をみることもあるので、装具交換のタイミングを考えることが大事になる。

穴あけ

接着面をストーマのサイズに合わせて、はさみで穴をあけること。

アレルギー (Allergy)

異常敏感症。(特定の物質や食べ物などに対する異常反応)

イレオストミー (Ileostomy)

回腸に造設した人工肛門(その手術)で、一般的には腹部の右側に造設される。

イレオストーマ

回腸のストーマ。

ウロストミー (Urostomy)

尿路変更術。または、回腸導管、尿管皮膚瘻、腎瘻、膀胱瘻などの尿の排泄口(ストーマ)をいう。

ウロストーマ

尿路ストーマ。

オストミー (Ostomy)

瘻設置術または吻合術の意を表す接尾語。ストーマ造設術をいい、転じて造設されたストーマ(人工肛門 人工膀胱)を意味することがある。

オストメイト (Ostomate)

ストーマを持つ人のこと。人工肛門保有者、人工膀胱保有者ともいう。オストメイトをストーマのタイプ別にいう場合は、コロストメイト(結腸ストーマ保有者)、イレオストメイト(回腸ストーマ保有者)、ウロストメイト(尿路ストーマ保有者)という。オストメイトの間では、もっと簡略化してコロ・イレオ・ウロと表現している。

ガス抜き

ストーマ袋に充満したガスで衣服がふくらむのを防ぐために、時々トイレでストーマ袋内のガスを排出すること。

合併症

ある疾患の経過中に引き続いて起こった他の疾病や病態。

カテーテル (Catheter)

便や尿を導出するための管をいい、ゴム製やシリコン製などがある。

かぶれ

接触性皮膚炎。刺激との接触で起こる皮膚炎。

陥凹型ストーマ

ストーマの排泄口が腹壁の皮膚面より下にあるストーマ。

クリニカル パス (Clinical Path)

疾患毎に標準的な治療スケジュールや治療目標を定める治療の『工程表』。

コロストミー (Colostomy)

結腸に造設した人工肛門(その手術)で、一般的には腹部の左側に造設される。上行結腸・横行結腸の部分に造設されることもある。

コロストーマ

結腸のストーマ。

自然排便法

大腸の蠕動運動のままに、ストーマから出てくる便を装具で受ける方法を自然排便法という。一方、洗腸(灌注)排便法や下剤で蠕動運動を促し排便する方法を強制排便法ともいう。

人工肛門 (ストーマの項参照)

腹部に便を排泄するために造設された消化管排泄孔。

人工膀胱 (ストーマの項参照)

尿を排泄するために造設された尿路排泄孔。

スキン ケア (Skin care)

ストーマ周囲の皮膚の状態を良好に維持し、排泄物やストーマ装具などの刺激で起こる発赤、表皮剥離、ただれ、かゆみ、痛みなどのトラブルから皮膚を守ること。

(注) オストメイトとしては、基本的なストーマ周囲の皮膚の手入れと観察、皮膚に適合する皮膚保護剤の選択と正しい装着、皮膚トラブル発生時のストーマ外来・皮膚科受診などセルフケアの充実が求められる。

スキンバリア (Skin barrier)

ストーマ周囲の皮膚を排泄物やテープ類などの刺激から守るための皮膚保護剤。スキンバリアの種類としては、カラヤ系、合成系、混合系がある。液状の被膜剤もある。

ストーマ (Stoma)

手術によって便や尿を排泄するために腹壁に造設された排泄孔のことをいい、消化管ストーマと尿路ストーマがある。消化管ストーマをコロストミーまたはイレオストミーといい、尿路ストーマを総称してウロストミーという。

(注) オストメイトの間では人工肛門や人工膀胱という用語の代わりに、ストーマという言い方をするのが慣習となっている。

ストーマ外来

ストーマ ケアや退院後の日常生活上の指導を行う外来。

ストーマ ケア (Stoma care)

狭義では、ストーマ合併症の予防、創感染の予防およびオストメイトのセルフケア習得を目的として、ストーマ周囲の皮膚に関するケアとストーマ装具の選択・装着・交換、皮膚の清拭、ストーマ袋内の排泄物処理などの局所のケアを指すが、広義ではさらにオストメイトの生活面・身体面・心理面の総合的な指導・助言を意味する。

ストーマ ゲージ (Stoma gauge)

ストーマのサイズを測定する時に使う計測用ゲージ。計測はストーマの根元に当てて行い、フランジ(面板)やストーマ袋の接着面に穴あけを行うときの型紙とする。

ストーマのサイズ (Stoma size)

ストーマの縦・横・高さのサイズをいう。縦と横のサイズはストーマの根元で測り、高さは皮膚から排泄口までの最短距離。ストーマのサイズは装具を選択する際の基本的な要素である。ストーマのサイズは術直後から数カ月間は変化し、半年後位ではほぼ一定する。

ストーマ サイト マーキング (Stoma site marking)

装具の装着に好都合で、オストメイトの術後の生活パターンに合わせたセルフケアが容易になるように、術前にストーマ造設に最適な位置を決めておくこと。

ストーマ周囲皮膚炎

ストーマの周囲にさまざまな原因で起こる皮膚の炎症。

ストーマ周囲皮膚障害

ストーマ周囲皮膚の病的状態(びらん・潰瘍など)

ストーマ術前オリエンテーション

ストーマ造設手術を受ける前に、ストーマ概念の説明や位置決めなどを実施して、患者がストーマを正しく認識できるようにすること。

ストーマのセルフケア (Self care of stoma)

ストーマの自己管理。オストメイト自身がストーマとその周囲の皮膚を良い状態に維持すること。

ストーマ保有者

オストメイトと同じ意味。

ストーマ装具/ストーマ用品/洗腸用具

ストーマから便や尿を受けるための日常不可欠な必需品で、オストメイトの排泄支援用具のことである。

ストーマ装具は、ツーピースタイプとワンピースタイプという使い捨ての装具から成り立っている。国の日常生活用具給付制度では、ストーマ装具を消化管ストーマ装具(畜便袋)と尿路ストーマ装具(畜尿袋)に分類している。

ツーピースタイプ(二品系)とは、皮膚保護剤の付いたフランジ(面板)にストーマ袋(ストーマ袋)を嵌め込んで接合するものをいう。このタイプは、フランジを皮膚に接着したままストーマ袋を適宜交換できる。

ワンピースタイプ(単品系)とは、ストーマ袋と皮膚保護剤の皮膚接着面が一体化しているものをいう。

ワンピースタイプ(単品系)とは、ストーマ袋と皮膚保護剤の皮膚接着面が一体化しているものをいう。

ストーマ用品は、ストーマ装具の装着時に、皮膚の保護・排泄物の漏れ防止・皮膚への装具密着などのために使用する各種用品をいい、皮膚保護ペースト/皮膚保護パテ、皮膚保護パウダー、皮膚保護ウエハー、固定用ベルト、サージカルテープ、コンベックス・インサート、剥離剤（リムーバー）、皮膚皮膜剤（スキンバリア）、レッグバッグ（下肢装着用蓄尿袋）、ナイト・ドレーナージバッグ（夜間用蓄尿袋）、ストーマ袋カバー、皮膚保護剤穴あけ専用はさみ、消臭剤などがある。

洗腸用具は、洗腸排便法（灌注排便法ともいう）を行っているコロストメイトが洗腸を行う際に必要とする用具である。

ストーマ袋（ストーマバッグ）

ストーマからの便や尿を受ける袋。防臭性のある積層プラスチックフィルム製の使い捨ての製品である。

オープンエンド ストーマ袋（コロストミーとイレオストミー用の下部開放型）

排出口である裾の開口部がストレートに開いていて、術直後などに使用する。

ドレーナブル ストーマ袋（コロストミーとイレオストミー用の下部開放型）

オープンエンドよりも裾の開口部が狭い。

クローズド ストーマ袋（コロストミー用の下部閉鎖型）

固形便で便量が多くないコロストーマや洗腸後に使用するコンパクトなストーマ袋。

ウロストミー ストーマ袋

ウロストミー専用のストーマ袋で、尿の逆流を防ぐ逆流防止弁と尿タップが付いている。

ミニ ストーマ袋

肌色の小型のストーマ袋で、入浴やスポーツなど短時間に使用するのに便利である。

ストーマ リハビリテーション（Stoma rehabilitation）

ストーマと合併症の障害を克服して自立するだけでなく、オストメイトの心身および社会生活の機能を回復させること。また、それを促進する技術と方法。

洗腸排便法（Irrigation イリゲーション）

灌注排便法ともいう。この洗腸排便法は強制排便法の一方法である。この洗腸排便法に対して、自然に任せる排便方法を自然排便法という。コロストメイトが専用の洗腸用具を使用して、ストーマから微温湯を注入し大腸に刺激を加え、一気に排便を促す方法。24時間～48時間は臭いのないガスのみが出て排便が起こらなくなる。ただし、この強制排便法には適応・不適応の判断が必要で、主治医の許可を得る必要がある。

ただれ

皮膚が傷んでジクジクとした状態。

ダブル ストーマ（Double stoma）

消化管ストーマと尿路ストーマの両方を保有する。

パッチ テスト（Patch test）

ストーマ周囲の皮膚を皮膚保護剤やテープ類などの接着が原因で起こる炎症から守るために、装具を選択する際にサンプルにより皮膚反応のテストを行うこと。

皮膚保護剤

皮膚保護剤の多くは、皮膚への粘着性および皮膚と同じ pH の弱酸性の特性を有し、かつ制菌作用と緩衝作用も併せ持っているので、排泄物の刺激から皮膚を保護することができる。皮膚保護剤の種類には、装具の接着面に付いているものとペースト状・粉末状・板状・リング状のものがある。

びらん

ただれの医学用語。

フィンガー ブジー (Finger bougienage)

腸の走行状態を確認する場合やストーマ狭窄の有無を調べるために、ストーマに指を挿入すること。

フランジ (Flange; 面板 Face Plate)

ストーマ袋接合部の輪状縁をいう。ストーマ周囲の皮膚に接着し、皮膚を平坦に保つ役目をする。

ロール ガーゼ (Roll gauze)

ウロストメイトが装具交換時に、ストーマから出る尿が周りの皮膚に付かないように、ガーゼを葉巻状に巻いてストーマに当て尿を吸い取るもの。

AOA (Asian Ostomy Association)

アジア オストミー協会の略称。IOA の地域機構の一つ。3年に1回、AOA 大会を開催している。

ET (Enterostomal Therapist)

WCET 認定の ET 養成校でストーマ ケア、失禁ケア、創傷ケアなどについて所定の課程を修了した看護師。

IOA (International Ostomy Association)

国際オストミー協会の略称。世界 74 カ国のオストミー団体が加盟している。設立は 1974 年で、(社)日本オストミー協会は設立当初からの一員である。3年に1回、IOA 世界大会を開催している。

JAOAI (Japan Association of Ostomy Appliance Industries)

日本ストーマ用品協会 (ストーマ装具メーカーの団体) の英文略称。

JOA (Japan Ostomy Association, Inc.)

社団法人 日本オストミー協会の英文略称。

JSSCR (Japanese Society of Stoma and Continence Rehabilitation)

日本ストーマ・排泄リハビリテーション学会の英文略称。ストーマおよび関連の学問と研究をする外科医、泌尿器科医、看護師 (ET / WOC 看護認定看護師を含む) とメーカーが協同して設立した日本の学会。

JWOCM (Japanese Society of Wound, Ostomy and Continence Management)

日本創傷・オストミー・失禁管理学会の英文略称。ET 看護師、WOC 看護認定看護師、皮膚・排泄ケア認定看護師の他に、医師、看護師、医学・看護学研究者、工学研究者を加えた学会。

UOA (United Ostomy Association)

アメリカとカナダのオストメイトが 1962 年に設立した世界最大のオストミー団体の略称。現在、UOA アメリカと UOA カナダとなっている。

WCET (World Council of Enterostomal Therapists)

ET の世界的組織の略称。

WOC 看護認定看護師 (Wound, Ostomy, Continence Nurse)

日本看護協会が認定する創傷、オストミー、失禁ケアを専門に行う看護師。